

令和5年度第1回 国土交通省航空局 総合評価委員会 審議概要	
開催日及び場所	令和5年7月5日(水) 対面・オンライン併用形式による開催
委員	委員長：廣渡 鉄 (廣渡法律事務所 弁護士) 委員：高田 和幸 (東京電機大学理工学部 教授) 委員：鎌田 裕美 (一橋大学大学院経営管理研究科 准教授)
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価方式の運用ガイドラインの改定 ・航空局等直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドラインの改定
委員からの意見、質問等	別紙「議事要旨」のとおり
各員会の意見を踏まえた変更事項	特になし

【議事要旨】各委員からの意見、質問等

○建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価方式の運用ガイドラインの改定（案）

○航空局等直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドラインの改定（案）

・一括審査方式

（質問）最初の業務を受注した業者は余裕があれば次の業務も受注可能なのか。それとも受注できない制度設計なのか確認したい。

（回答）一者が全ての案件を受注することが出来るかのご質問ですが、一括審査方式は事務負担の軽減を目的に設定されており、採用する工事は発注者側で優先落札工事・業務を決めております。そのため一件目の工事を落札すれば以降は二番目、三番目の業者が落札する扱いとなります。配置予定技術者も一名というように限定をして事務負担軽減を図ることを目的としているため、複数の工事の落札はできないルールになります。

・賃上げ企業への加点措置

（質問）賃上げを表明した企業への加点措置について、既に賃金を高く設定している企業はさらなる賃上げ宣言しづらいように思うが配慮されているのか。

（回答）賃上げ表明をしない選択もできるようになっているため、企業の選択により加点しない措置もあります。